



関東ブロック春一番教研

PART III



日時 3月12日(日) 12時半～16時45分(予定)

会場 明治学院高校(東京メトロ南北線・「白金台」駅、都営浅草線「高輪台」駅下車)

参加費 500円

プログラム

12時半～14時 全体会講演会

演題「子どもの未来をひらく授業づくりを」(仮称)

講師：子安 潤さん(愛知教育大教授)

14時15分～16時45分 分科会

①HR びらき ②授業びらき(文系科目) ③授業びらき(理系科目) ④性の多様性を考える

主催：私教連関東ブロック(東京私教連、千葉私教連、埼玉私教連、神奈川私教連、茨城私教連、栃木私教連、長野私教連)

裏面に分科会③④の内容がのっています。ご覧下さい。

分科会③「物理基礎、波動の授業・事始め」

波の伝播の仕方を体験しながら学ぶ波動1時間目の模擬授業です。参加していただいて、みなさんと一緒に1時間目に何をつかませるか、考えていきます。

分科会④「性の多様性を考える」

2015年、文科省が「性同一性障害に係る児童生徒に対するきめ細かな対応」の実施を求める通知を出しました。「LGBT」という言葉を目にする機会も数多くなっています。学校が「性の多様性」にどのように向き合うのかが注目されています。

この問題を、教職員も保護者も生徒も一緒になって学び合いましょう。“人間と性”教育研究協議会(性教協)の水野哲夫さんと、総合科目「性と生」で性の多様性の授業をしている大東学園高校(東京)の先生をお迎えしました。

この分科会は次の二つの柱で構成します。

1. 模擬授業「性別って何？」

誰もが分かっていると思っている「性別」。しかし、あらためて考えてみるといろいろな発見があるのではないのでしょうか。高校1年の総合科目「性と生」の授業を体験してみましよう。

2. 実践的問題提起と交流「多様性を隠してきた学校と多様性を尊重する学校」

学校にありがちな「多様性をめぐる『あるあるケース』」を一緒に考えていきましょう。

たくさんの皆さんの参加をお待ちしています。

